

第1章

下水道ビジョンの策定にあたって

| | |
|-------------------|---|
| 1.1 目的と位置付け | 2 |
| 1.2 計画期間 | 4 |
| 1.3 本計画の進め方 | 5 |
| 1.4 本書の構成 | 6 |



第1章 下水道ビジョンの策定にあたって

1.1 目的と位置付け

1.1.1 目的

国土交通省は、平成17(2005)年に「下水道ビジョン2100」を、平成26(2014)年に「新下水道ビジョン」を作成・公表しました。

新下水道ビジョン策定から人口減少等に伴う厳しい経営環境、執行体制の脆弱化、施設の老朽化などの課題は一層進行し、より深刻度を増しています。こうした社会情勢の変化等

を踏まえ、新下水道ビジョンの実現加速の観点から5年程度で実施すべき施策として平成29(2017)年に「新下水道ビジョン加速戦略」が策定されています。

流山市(以降、本市とします)でも、この理念にあわせた計画をつくる必要が生じ、今回下水道ビジョンを策定しました。



西平井調整池(にしひらい水鳥の池)



新東谷調整池



汚水管渠整備



大堀川1号幹線(雨水)

1.1.2 位置付け

流山市下水道ビジョンは、国連が示すSDGsの理念とともに、本市の最上位計画である「流山市総合計画（令和2年3月策定）」に掲げた下水道に関する施策を推進するための個別の計画として位置付けます。

なお、策定するにあたり、公共下水道の上位計画である流域下水道計画、および将来の施

設整備や維持管理の基本的方針について関連計画である「汚水適正処理構想」、「浄化槽整備計画」、「下水道事業ストックマネジメント」との整合を図るものとし、以下に、上位計画および関連計画の主な計画内容と位置付けを示します。（図1-1-1）

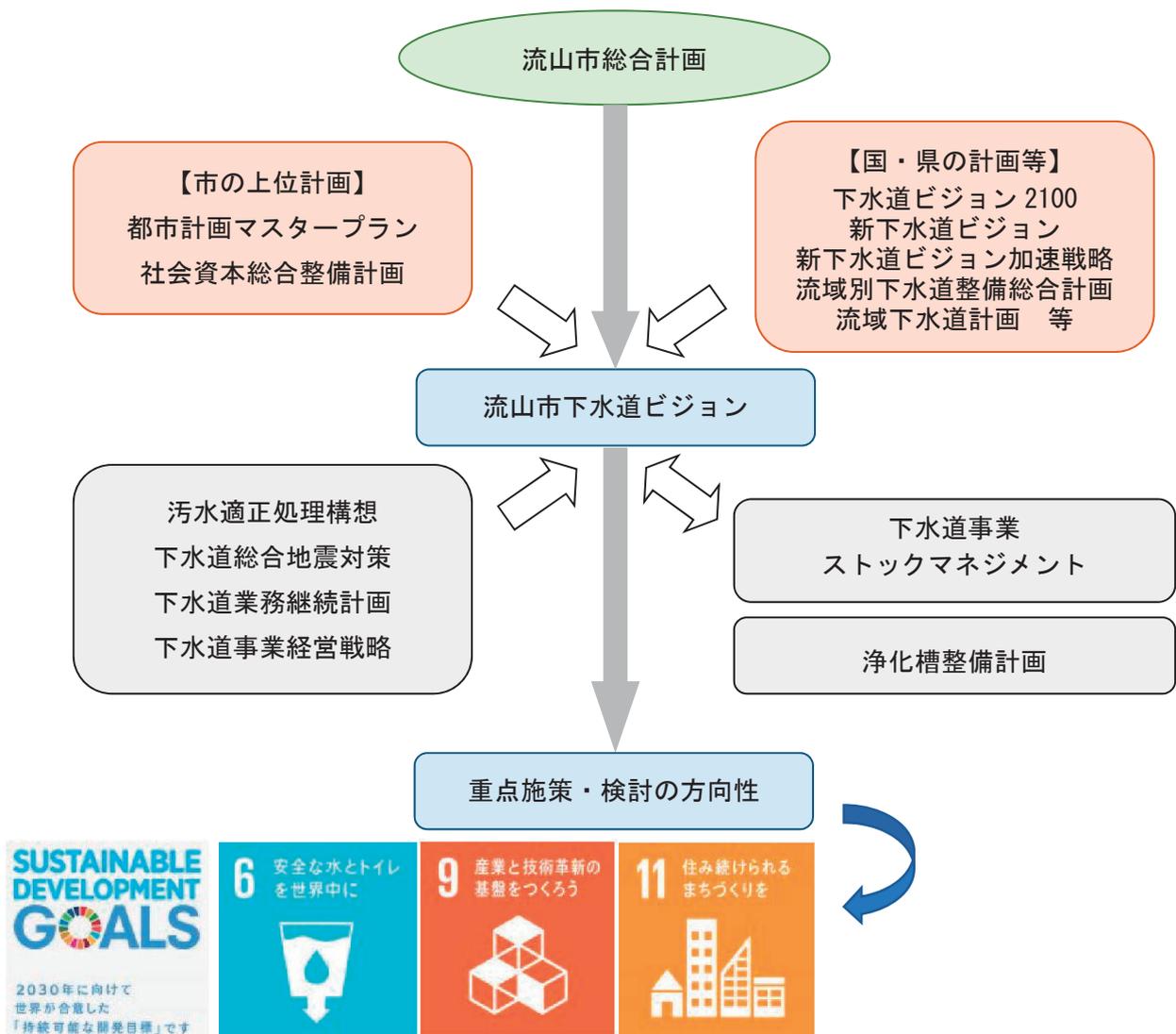


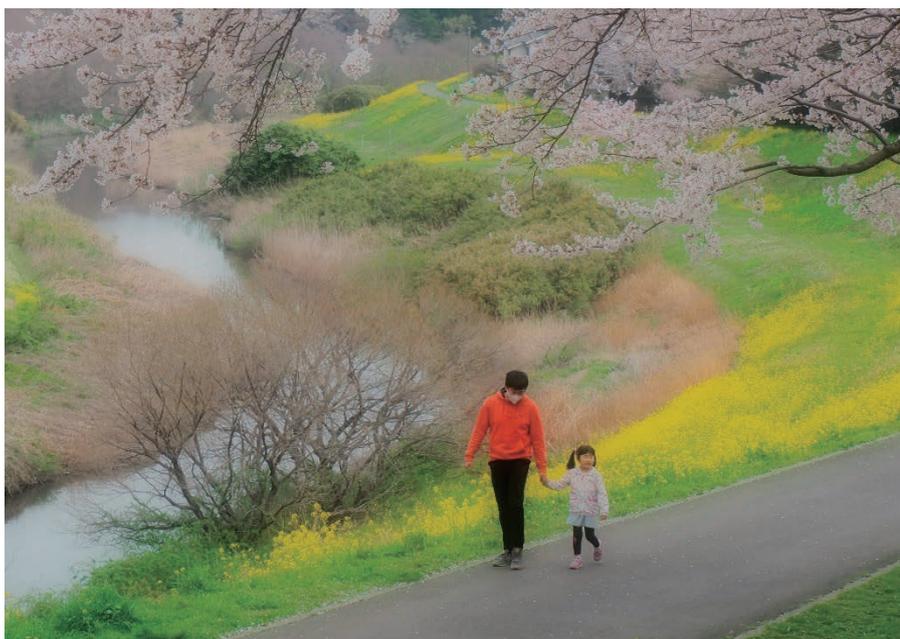
図 1-1-1 流山市下水道ビジョンの位置付け

1.2 計画期間

本計画では、将来の本市下水道の目指すべき姿を見すえたうえで、当面の事業の計画期間として10年間を設定します。具体的には令和5（2023）年度から令和14（2032）

年度までの10年間を対象とし、この期間に、どのような事業を、どのような手順で進めていくかについてとりまとめるものとします。

計画期間：令和5（2023）年度～令和14（2032）年度



利根運河（市議会だより写真コンクール入賞作品より）



水鳥の池の鳥たち

1.3 本計画の進め方

1.3.1 進め方の基本的な考え方

本計画の策定【PLAN】は、ゴールではなくはじまりです。

- ① 計画を策定し【PLAN】
- ② 次に計画に沿って実行し【DO】
- ③ 順調に進んでいるか確認し【CHECK】
- ④ 計画からずれている場合は原因を調べて改善策をつくり【ACTION】
- ⑤ 計画を修正し【PLAN】
- ⑥ 修正した計画に沿って実行します【DO】

このような一連の PDCA サイクルをくりかえし続けていくことで、本計画はより良い形で実行され、将来の目標達成、ひいては本市の目指すべき下水道事業の実現が可能となります。なお、本計画に書かれていないものであっても、将来の目標の達成や目指すべき下水道事業の実現に必要なことと判断される場合は、変更・見直しを行い、適切に計画に反映させていくものとします。

1.3.2 具体的な手順

短期（毎年度：実績＋進捗）、中期（5年ごと：短期分＋詳細実績＋進捗と乖離時の原因の把握）、長期（最終年度：短期・中期分＋総合評価＋次期計画）の間隔の異なる3段階のPDCAサイクルを回すことにより、本計画の実効性と目標の達成を担保できるようにしま

す。（図 1-3-1）

また、非常時には、平常時とは別の実績データを整理し、次の非常時に活かせるようにします。それぞれのPDCAサイクルでの整理項目や実施時期、役割などは表 1-3-1 のとおりです。

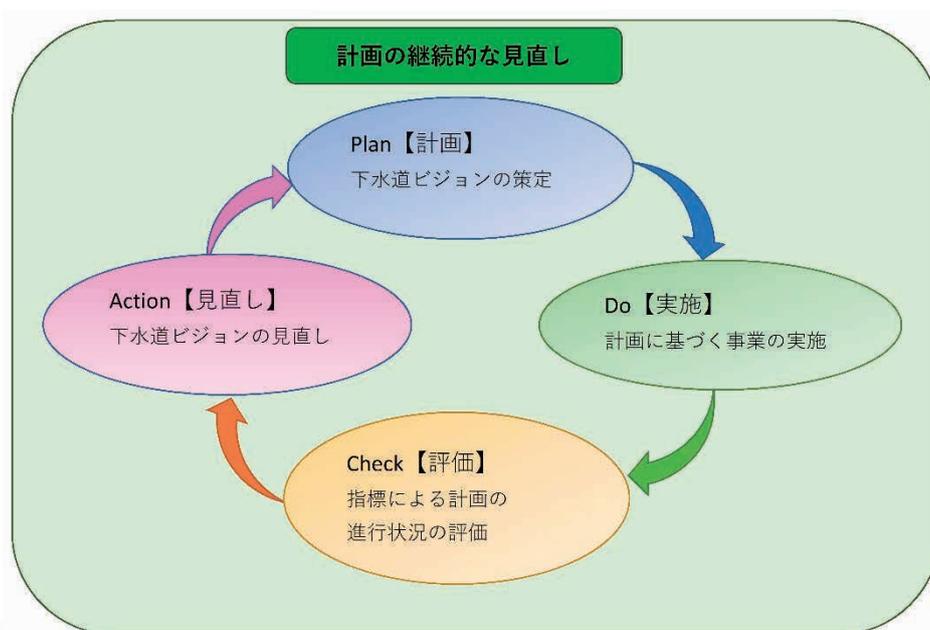


図 1-3-1 PDCA サイクルのイメージ

表 1-3-1 PDCA サイクルの整理項目と実施時期

| 場面 | 項目 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | 非常時 |
|-----|------------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | 短期 | 短期 | 短期 | 短期 | 中期 | 短期 | 短期 | 短期 | 短期 | 長期 | |
| 平常時 | 基本項目 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | |
| | ストックマネジメント | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | |
| | 浄化槽整備 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | |
| | 雨水整備 | | | ● | ● | ● | ● | | | | | |
| | 実施方策 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | |
| | 人口推計値 | | | | | ● | | | | | ● | |
| | 財政予測 | | | | | ● | | | | | ● | |
| | 総合評価 | | | | | | | | | | ● | |
| 非常時 | 災害詳細 | | | | | | | | | | ● | ● |
| | 被害状況 | | | | | | | | | | ● | ● |
| | 復旧状況 | | | | | | | | | | ● | ● |
| | 問題点・課題 | | | | | | | | | | ● | ● |
| | 市民情報・苦情 | | | | | | | | | | ● | ● |
| | 対策費用 | | | | | | | | | | ● | ● |

1.4 本書の構成

本書の各章は、以下のように構成されています。

第1章が本章であり、第2章では本市および本市下水道の概要についてまとめています。

第3章は現状をまとめ、第4章で目指すべき姿とそのための方策を示し、第5章で財政面の見通しをまとめています。